

**京都第二赤十字病院では、
受診時に患者さんから得られた診療情報等の提供を伴う
下記の臨床研究を行っています。**

下記臨床研究は「東海大学医学部 臨床研究審査委員会」の承認および研究機関の長の許可を得て実施しています。

当該診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化处理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は担当者にご連絡ください。なお、その申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。

【研究課題名】

外傷における包括的長期予後データベースの構築とテーラーメイド型退院後医療の確立
～中等から重症外傷疾患に対する病院生存退院後の自然史、QOL、社会復帰に関する多施設
共同研究～

【研究の目的】

下記の診療情報等を利用し、中等症～重症外傷の患者さんは、退院後どのように回復して社会復帰していくのか、またその後の生活の質が何によって変わるのかを調査します。

【研究の対象となる方】

許可日 から 2022年12月31日 までの間に、当院の救命救急科で外傷の治療を受けられた方です。

【利用期間（研究実施期間）】

許可日 から 2029年03月31日 まで

【研究に用いる診療情報等の項目】

・診療情報等：年齢、性別、既往歴、外傷の原因、病院前や病院内の情報（血圧、脈拍、体温、意識状態、呼吸数、身体の中の酸素濃度、身体の状態など）、入院までの時間経過、治療検査処置、怪我の部位・診断名・退院時のお体の状態・退院先・入院日数・入院にかかった費用・社会的な患者さんの背景（家族構成、居住地域、職業、受傷前の障害の有無、経済学的ステータス、最終学歴、個人年収、世帯年収、精神健康状態など）

【情報の提供先・提供方法】

上記の診療情報等を解析のために、研究代表施設東海大学医学部付属病院に郵送もしくは電子的配信にて提供されます。なお、情報の収集にあたってはプライバシーマーク取得済み総合アウトソーシング企業である SYSPRO に委託（研究委託）します。

【利益相反に関する事項】

この研究は、特定企業等からの資金提供はないため利益相反はありません。

【共同研究の研究代表機関及び研究代表者】

- 研究代表機関：東海大学医学部付属病院
- 研究代表者：救命救急科 准教授 土谷 飛鳥

【研究分担施設及び各施設の研究責任者】（2025年12月17日現在）

研究分担施設	研究責任者
独立行政法人国立病院機構水戸医療センター	堤 悠介
東北大学大学院医学系研究科外科病態学講座救急医学	工藤 大介
国立健康危機管理研究機構国立国際医療センター	佐々木 亮
日本医科大学千葉北総病院	益子 一樹
埼玉医科大学総合医療センター高度救命救急センター	井口 浩一
京都第二赤十字病院	神鳥 研二
亀田総合病院 救命救急センター	白石 淳
済生会横浜市東部病院 重症外傷センター	松本 松圭
東京科学大学医学部附属病院 救命救急センター	高山 渉
帝京大学医学部附属病院 高度救命救急センター	伊藤 香
北海道大学病院救急科	和田 剛志
大阪大学医学部附属病院	中尾俊一郎
大阪公立大学医学部 救急医学	内田 健一郎
佐賀大学医学部附属病院高度救命救急センター	小川弘貴

【問い合わせ先】

京都第二赤十字病院 （電話：代表 075-231-5171）

研究責任者 初療診療・Acute Care Surgery 科 神鳥 研二

問い合わせ担当者 初療診療・Acute Care Surgery 科 神鳥 研二